



訪日外国人に伝わるライティング

2023年2月7日 更新

目次

- I. 高まる「外国人目線ライティング」のニーズ p. 3 ~ 5
- II. なぜネイティブ目線なのか？ p. 6 ~ 11
- III. サービス・料金 p. 12 ~ 19
- IV. 実績紹介 p. 20 ~ 28
- V. お問い合わせ先 p. 29

II. 高まる「外国人目線ライティング」のニーズ

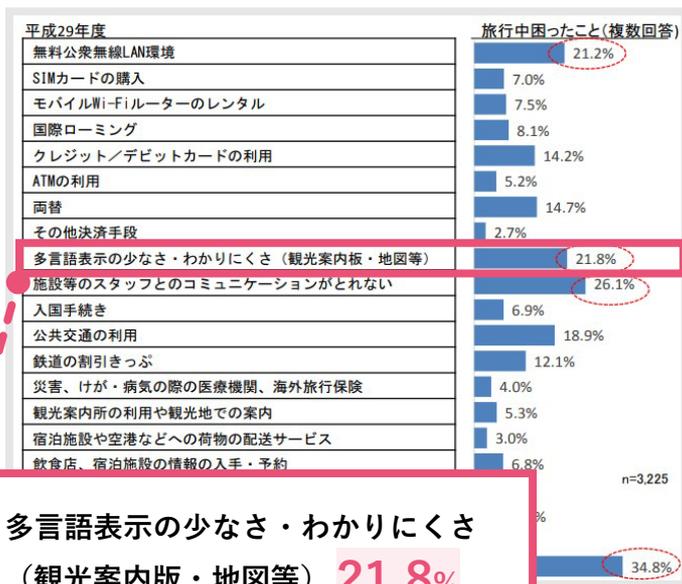
翻訳から、ネイティブ目線の「ライティング」へ

これまでの看板・パンフレット・海外向けWebサイトは、単純翻訳が主流でした。

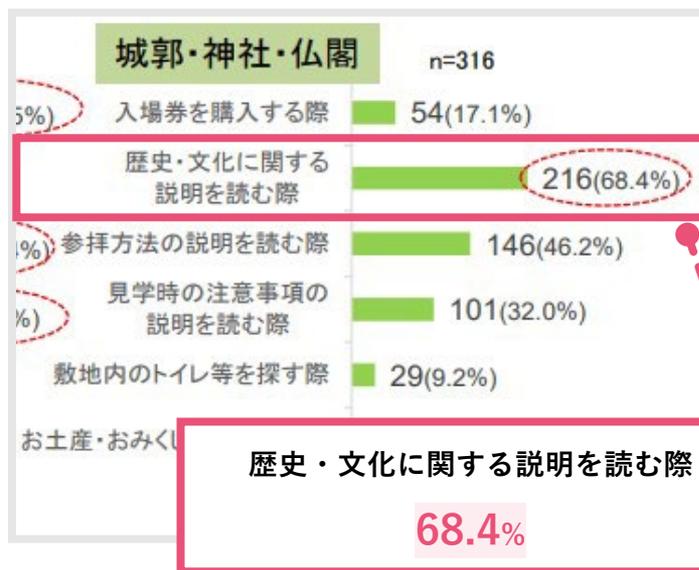
しかし、今、グローバル化や訪日外国人観光客の増加にともない、

母国語に合わせた、分かりやすい「ライティング」が求められています。

● 旅行中に困ったこと



● 多言語表示・コミュニケーションで困った場面



出典元：観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境整備における国内の多言語対応に関するアンケート」結果

国・自治体による「多言語ライティング公示案件」の増加

官公庁や自治体は多言語の解説整備を推進しています。

訪日外国人の「満足度の高い体験」ニーズの増加に応えるため、

日本文化の知識を持ち、英語を母国語とするライターのリライティングが必要だと考えられているためです。

多言語ライティングの公示案件（例）

観光庁	地域観光資源の多言語解説整備支援事業 （2018～2022年度、弊社は制作会社として参画中）
観光庁	地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業 （令和4年度、弊社は制作会社として参画）
文化庁	文化財多言語解説整備事業 （令和2年度、弊社は制作会社として参画）  観光庁が「推薦する人材」から監修を受ける場合には、補助率に10%の加算を行うことができます。 弊社のスタッフは観光庁の「専門人材リスト」に登録されています。
文化庁	先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業
環境省	国立公園等資源整備事業費補助金（国立公園等多言語解説等整備事業）  観光庁多言語事業の「スタイルマニュアル」「専門人材リスト」を実施することが推奨されています。 弊社のスタッフはスタイルマニュアルを熟知し、観光庁の専門人材リストに登録されています。

1. なぜネイティブ目線なのか？

なぜネイティブ目線なのか？

これまでの解説文は、日本語をそのまま直訳した翻訳が主流でしたが、外国人にとって「**難しすぎて理解できない**」「**知りたいことが解説されていない**」などその価値や地域の魅力を十分に伝えることができていませんでした。



イメージの出典元：観光庁「地域の魅力が世界に響く HOW TO 多言語解説文整備」

なぜ外国人に伝わらないのか？

◎ 英語と日本語は、 文章のスタイルが異なります。

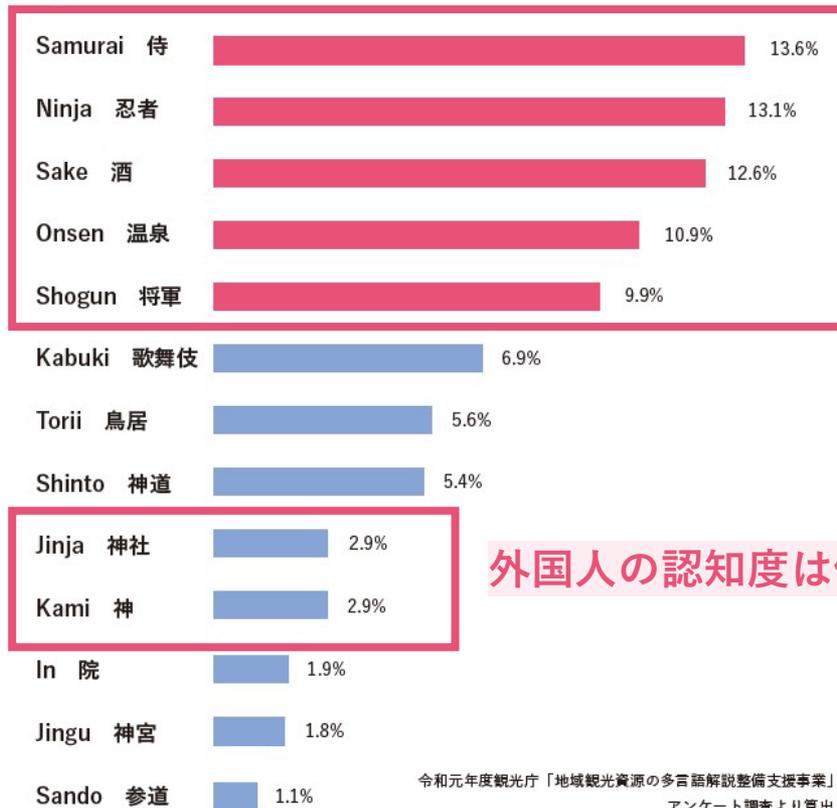
- ✓ **日本語**：歴史の解説文など
一般的に「時系列」に沿う
- ✓ **英語**：まず全体の概要を説明し、
それから個別の説明に入る

◎ 英語には「補足」が必要です。

- ✓ **日本人**：日本の歴史など既に知っている
- ✓ **外国人**：分からないのでもっと知りたい

補足することでテキストの分量が増えたり、
反対に難しい内容は省き短くなることも。

Q. 知っている日本の言葉がありますか。(複数回答可)



外国人の認知度は低い

令和元年度観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」
アンケート調査より算出

イメージの出典元：観光庁「地域の魅力が世界に響く HOW TO 多言語解説文整備」

どんな解説文が求められているのか？（文化財の場合）

文化財の解説文を読むにあたり、あなたが知りたいと思う情報は何か？

- 1位 90.5% 文化財の持つ歴史的な意味、ストーリーについて
- 2位 84.5% 文化財やその文化財の作法（参拝方法等）の背景にある日本独自の精神性や文化について
- 3位 75.9% 文化財の価値（日本の国宝である、重要文化財である等）



結果

文化財の解説文においては、文化財の構造（寸法、大きさ、建築様式等）よりも、歴史的な意味や背景、文化、価値などを知りたいという結果が出ました。

！ 構造よりも「背景・文化・価値」を知りたい

イメージの出典元：観光庁「地域の魅力が世界に響く HOW TO 多言語解説文整備」、観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」アンケート調査

どんな解説文が求められているのか？（国立公園の場合）

国立公園の自然などに関する解説文を読むにあたり、あなたが知りたいと思う情報は何か？

- 1位 82.3% その地域にまつわる神話など文化・歴史的な情報について
- 2位 81.8% 国立公園の面積・指定年月などの基本情報について
- 3位 78.2% その地域で体感・体験することのできる文化や風景、行事などについて



結果

国立公園の自然などに関する解説文においては、その地域に生息する動植物等の情報に加えて、その地域で体感・体験することのできる文化や風景、行事といった情報を知りたいという結果が出ました。

!

動植物だけではなく

「地域の文化・行事・体験」を知りたい

イメージの出典元：観光庁「地域の魅力が世界に響く HOW TO 多言語解説文整備」、観光庁「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」アンケート調査

観光庁の「ライティング・スタイルマニュアル」とは？

“魅力的な多言語解説文を作成・執筆する際の

ライティング技術等、細かなポイントを取りまとめたもの“

近年の観光庁・文化庁・環境省などの公示案件では、
このマニュアルに沿ったライティングの実施が推奨されています。

(例) イタリック体

英語にとっての外国語の単語Merriam-Webster's Collegiate Dictionaryに
載っていない日本語の単語はイタリック体にする。

- *Kojiki*, the first written record in Japan

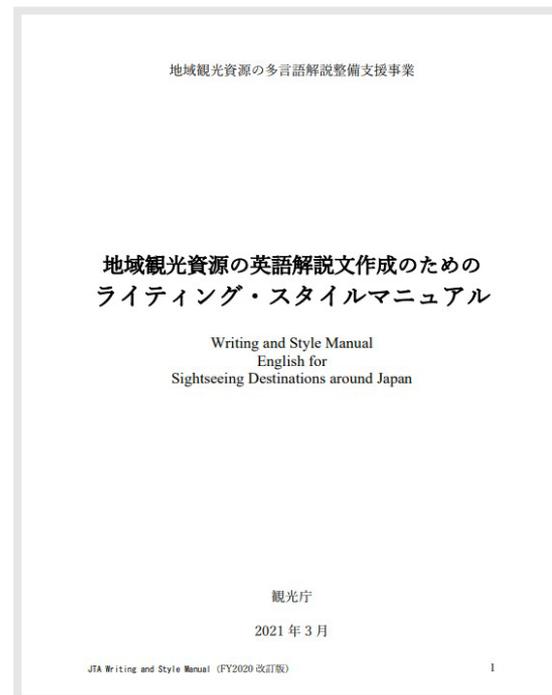
(例) 歴史上の人物

原則として、慣習に従い日本語の名前は苗字を先にする。
日本国外で名前-苗字の順で広く知られている人についてはこの限りではない。
苗字をすべて大文字にする表記方法は用いない。

- 徳川吉宗 → Tokugawa Yoshimune



弊社では『ライティング・スタイルマニュアル』に
基づいた文体、表現になっているかを確認しながら
執筆・編集しております。



地域観光資源の英語解説文作成のための
ライティング・スタイルマニュアル（日本語）
[スタイルマニュアルのリンク先](#)（観光庁サイトへ）

II. サービス・料金

サービス・料金

	ライティング	リライト
料金	~250 words × 1点 = 135,000円 251~500 words × 1点 = 180,000円 501~750 words × 1点 = 240,000円	1文字 100円～
原文に沿う	×	○
日本の歴史的背景など 補足・追加	◎	○
取材	◎	△
事実確認用の日本語仮訳	料金に含む	オプション
備考	英文ワード数は 取材をもとに決定	原文となる原稿を ご用意ください

- 上記料金には、ライターとは別のネイティブスタッフによる「チェック&編集」が含まれます。
- ライティング・リライトの各料金に対し、ディレクション費を頂戴しております。詳しくはご相談ください。
- 案件により料金が異なる場合があります。お気軽にご相談ください。
- 取材費：10万円 × 日数 × 人数（宿泊・交通費は、案件毎に異なります）
- ネイティブ視点のデザインコンサルティングや媒体化後のネイティブチェックも承っております（オプション）。

エクスポート・ジャパンの強み

豊富な実績	わかりやすく伝える ノウハウ×ネイティブ目線	幅広いネットワーク
 <p>2018～2022年度、 観光庁の「地域観光資源の 多言語解説整備支援事業」 において弊社が担当した自治体は 合計57地域（現在進行中を含む） 整備対象は文化財、国立公園、 食文化など多岐にわたります。</p>	 <p>日本の歴史的文化を外国人に わかりやすく伝える ノウハウを持っています。 弊社には様々な国のスタッフが在籍。 地域の魅力を外国人に伝える ネイティブ目線のライティング を手掛けます。</p>	 <p>日本の歴史や文化に 深い知識をもつ外部のライターと 幅広いネットワークを築いています。 整備対象に合わせて 各分野（自然・観光・文化財）に 特化した最適なライターをアサイン することが可能です。</p>

弊社のライター&エディターは、観光庁の「専門人材リスト」に登録されております。

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/multilingual-kaisetsu.html>

ライティングの例（浅草寺）

日本語	一般的な翻訳事例	弊社のライティング	
<p>浅草寺</p> <p>浅草寺（せんそうじ）は、東京都台東区浅草2丁目にある東京都内最古の寺である。山号は金龍山。本尊は聖観世音菩薩。元は天台宗に属していたが、昭和25年（1950年）に独立し、聖観音宗の本山となった。観音菩薩を本尊とすることから「浅草観音」あるいは「浅草の観音様」と通称され、広く親しまれている。都内では、唯一の坂東三十三箇所観音霊場の札所（13番）である。江戸三十三箇所観音霊場の札所（1番）でもある。全国有数の観光地であるため、正月の初詣では毎年多数の参拝客が訪れ、参拝客数は常に全国トップ10に収まっている。</p> <p>引用元：ウィキペディア https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%85%E8%8D%89%E5%AF%BA</p>	<p>Sensōji</p> <p>Sensōji, located at 2-chōme, Taito City, Tokyo Prefecture, is the oldest temple in Tokyo Prefecture. Its honorific mountain name is Kinryūzan. The principle object of worship is Shōkanzeion Bosatsu. Originally it was part of the Tendai sect, but in Shōwa 25 (1950) it became independent and became the head temple of the Seikannon sect. Because Kannon Bosatsu is the principle object of worship, it has been named “Asakusa Kannon” or “Asakusa no Kannon-sama,” and is beloved far and wide. Within the city, it is the only place on the Bandō Sanjūsankasho (Number 13). It is also a stop on the Edo Sanjūsankasho (Number 1). Because it is one of the foremost tourist locations in the whole country, many worshipers come every New Year for their first visit to a temple of the year, and it is in the top 10 of all temples in Japan in terms of number of regular visitors.</p>	<p>Sensōji</p> <p>Sensōji is the oldest temple in Tokyo. According to legend, in 628 CE two fishermen found a statue of the bodhisattva Kannon while fishing on the Sumida River. The statue kept reappearing in their fishing nets no matter how many times they threw back. Eventually the fishermen gave in and enshrined the statue on the riverbank. Over time the basic shrine was built into a large temple, but the temple grew to prominence after the capital was moved from Kyoto to Edo (now Tokyo) in 1603. Tokugawa Ieyasu (1543–1616), first of the Tokugawa shoguns, established Sensōji as an official temple of the Tokugawa shogunate (1603–1867). Ever since, pilgrims have flocked to Asakusa from all over Japan. On March 10, 1945 the temple and surrounding area were destroyed in the first major fire bombing by the United States Army Air Forces. Sensōji was rebuilt in 1958, and it continues to be popular with both pilgrims and tourists.</p>	<p>浅草寺（和訳）</p> <p>浅草寺は東京で最も古い寺である。伝説によると、628年に二人の漁師が隅田川での漁の最中に一体の観音菩薩像を発見した。この像はこの漁師たちが何度（川に）投げ返しても彼らの網にかかってきたという。結局この漁師たちは諦めて川岸に像を祀ることにした。時を経てこの像が祀られた堂は大きな寺へとその姿を変えていったが、1603年に日本の首都（機能）が京都から江戸（現在の東京）に移されたのち、この寺はとてよく知られる存在になっていった。徳川家の1代目将軍である徳川家康（1543-1616）は、浅草寺を徳川幕府（1603-1867）の公式な祈願所に定めた。それ以来、巡礼者たちが日本中から浅草に集まるようになった。1945年3月10日、浅草寺とその周辺のエリアはアメリカ空軍の初めての大規模空襲（東京大空襲）によって破壊された。1958年に浅草寺は再建され、巡礼者と旅行者両方の間で人気を集め続けている。</p>

！ 弊社のライティング：
観音菩薩像の伝説を紹介したり、浅草寺は東京で最も古い寺にも関わらず、「なぜ建築物は新しいのか」「なぜ再建されることになったのか」を紹介することで、ネイティブの読み手により興味を持っていただけます。

リライトの例

(白神山地 秋田県藤里町様のパンフレット)



漢字の読み方については触れる

必要はないと考え、英語には反映していません。

元の日本語原文

「たなしろしつげん」と読みます。岳岱からさらに車で約10分、藤里駒ヶ岳の黒石沢登山口の駐車場に停車して、旧道方面に向かって原生的な森を10分ほど歩くと、湿原に到着します。

藤里駒ヶ岳は古くから信仰されてきた山でした。この湿原は神様の田であったといういわれがあることから、「田苗代」と呼ばれたそうです。散策できる湿原は3つあり、合わせると約19ha（東京ドーム約4個分）の広さにもなります。

季節の移ろいとともには様々な花が咲き誇り、訪れる者の目を楽しませてくれます。5月から6月にかけて牛乳瓶ほどの大きな実をつけるミズバショウや、6月下旬から7月にかけて黄色い花を咲かせるニッコウキスゲなどが湿原一面を覆うさまは壮観です。また、自ら熱を発生して雪を溶かして頭を出すザゼンソウ、小さい虫を食べるモウセンゴケなど興味深い生態の植物も。小さな植物をルーペで見ると、自然の神秘に驚くはずです。

リライト後

About 10 minutes up the Kuroishizawa Trail on Mt. Fujisato Komagadake is the Tanashiro Wetland. The secluded highland marsh's name, "Tanashiro" means "rice paddy of the gods"—a name given to it by ancient communities that worshiped the mountain. **The Tanashiro Wetland spans roughly 19 hectares, or about the size of 23 soccer pitches.**

Flowers bloom in the wetland throughout the year. **In May and June, Asian skunk cabbages produce huge, white blossoms that—unlike the flowers of their American cousins—have a pleasant smell.** From late June through July, the wetland is filled with Amur daylilies. Other commonly seen flowers are the round-leaved sundews, a type of carnivorous plant, and a type of skunk cabbage which melts through the snow in early spring with heat produced by its purple flower. In September and October, the beeches that surround Tanashiro turn the whole mountain into a blaze of yellow.

The Nature Advisors recommend looking at the plants up close with a magnifying glass or a loupe.



英文リライト（和訳）

「田苗代湿原は約19ヘクタール、サッカー場23面分の広さがあります」

「東京ドーム」と言われても外国人にはピンときませんので、サッカー場を例にしています。



英文リライト（和訳）

「アジアのミズバショウはアメリカと異なり、5月から6月にかけていい香りのする、白くて大きな花を咲かせます」

外国人には「牛乳瓶ほどの大きさ」がどのくらいの大きさか分かりませんので、ここではアメリカとアジアのミズバショウの違いを説明しています。

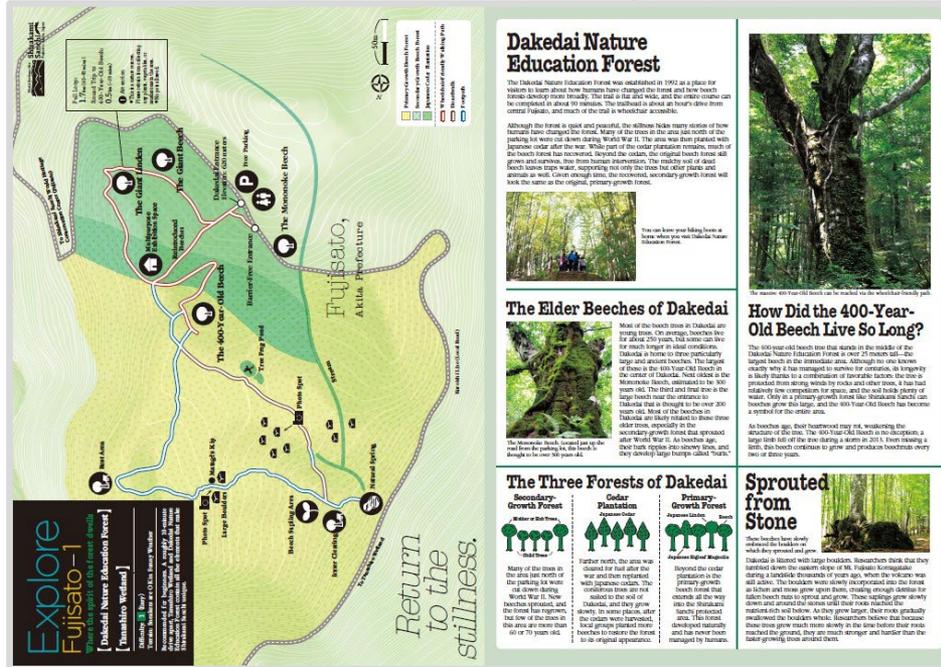
コンサルティングの例（白神山地 秋田県藤里町様のパンフレットの例）



外国人目線のフォントや
レイアウトのご提案

表面（レイアウトのご提案）

- ① **タイトル全体：左側へ移動**
一般的に、英語のタイトルは左側に配置されますので、左側への配置をお勧めいたします。
- ② **「白神山地ふじさとガイド」の削除**
分かりやすい表記をお勧めしておりますので、ここでは「白神山地ふじさとガイド」の文言の削除を推奨いたします。
- ③ **「巨岩」の削除**
「巨岩」を英語にいたしますと文が長くなってしまいますので、ここの英文表記は削愛させていただきます。



によつては「Q&A」を上から目線性がございませぬ。英語版では、割
たします。
性愛しておりませぬので、各項目
めいたします。
削除
は削愛し、「タイトル、二次林、人工
をお勧めいたします。



弊社の提案が反映された
実際の英語版パンフレット

原稿作成の手順（期間3ヶ月～）



ご相談・お打ち合わせ

対象物やスケジュール、取材日程などについてご相談いたします。
ご意向を伺いながら、原稿内容の方向性を確認させていただきます。

現地取材

取材前に資料などのご提供をお願いいたします。
ネイティブライターと編集者が現地に伺い、取材いたします（日本語でOKです）。

ネイティブによる執筆&編集

取材や資料をもとに、執筆&編集いたします。
外国人の読み手に魅力が伝わる、分かりやすい文章を手掛けております。

原稿のご確認（事実確認）

原稿のご確認をお願いいたします（ライティング料金には日本語仮訳が含まれております/リライトはオプション）

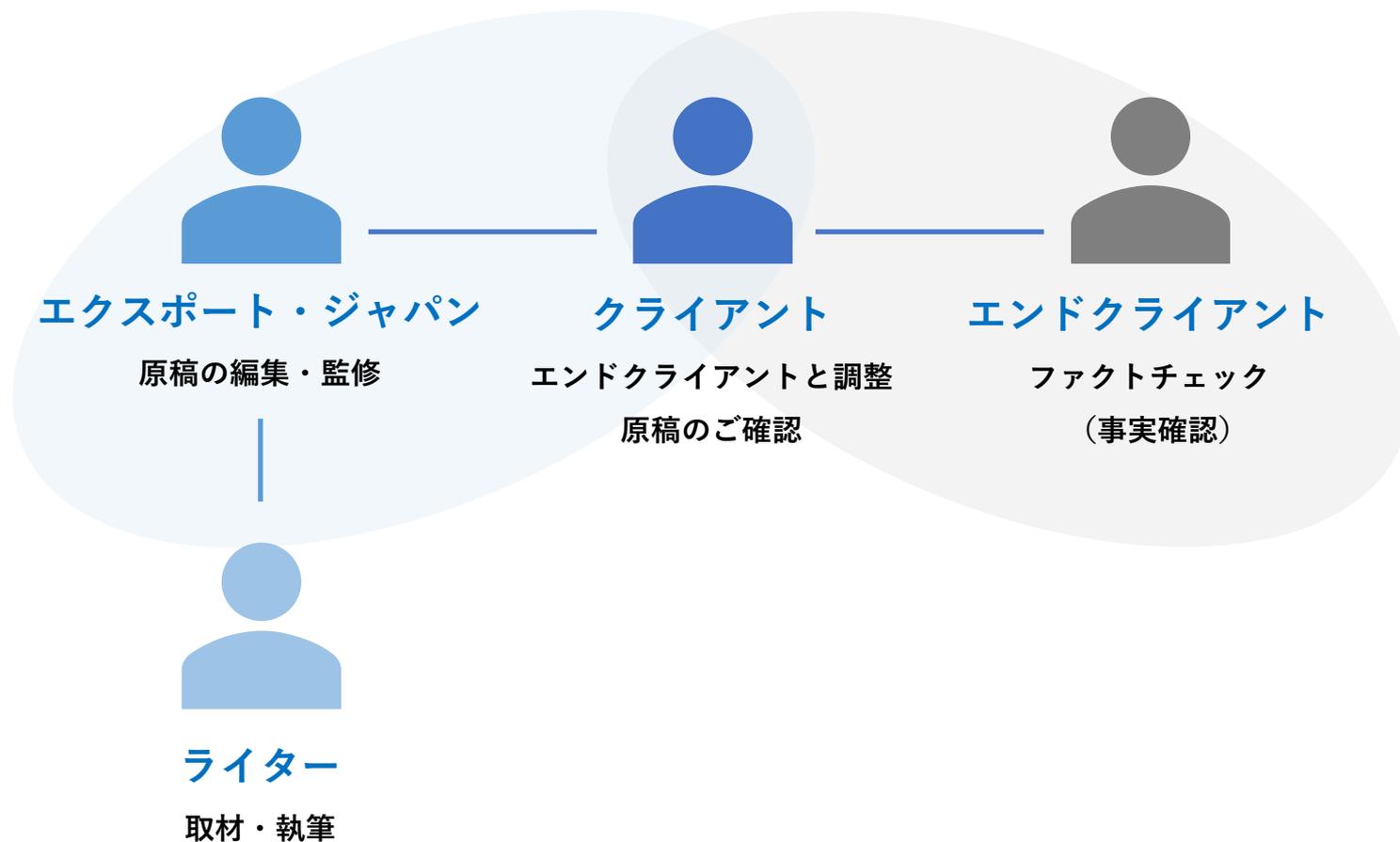
修正・校正

ご指摘いただいた内容をもとに修正いたします。
文法や表記の不一致がないか、読みやすさ向上のため最終チェックを行います。

原稿の納品

Microsoft Wordで納品いたします。

実施体制図



III. 実績紹介

ライティングの実績（観光庁多言語解説整備支援事業）

□ 観光庁：地域観光資源の多言語解説整備支援事業

2018年度～2022年度、合計57地域を担当。

文化財、国立公園、観光・食文化などの英語解説文を作成。

詳しくは、弊社の[Web観光・文化財ライティング事業のご案内](#)ページもご覧ください。

2018年度：

7地域を担当（全42地域、事業に参画した制作会社 5社）

	地域協議会	整備対象
1	萩 外国の方に分かりやすい解説文整備推進協議会	明治日本の産業革命遺産 & 萩焼
2	ビジットGIFU協議会	岐阜城
3	上武絹の道事業企画会議	世界遺産 富岡製糸場と絹産業遺産群
4	蔵王温泉協会	蔵王温泉 & スキー場
5	宗教法人瑞巖寺（多言語解説協議会）	瑞巖寺
6	一般社団法人 豊の国千年ロマン観光圏	国東半島関連（大分県）
7	日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会	銀の馬車道（兵庫県）

ライティングの実績（観光庁多言語解説整備支援事業）

2019年度：23地域を担当（全106地域、事業に参画した制作会社 7社）

	地域協議会	整備対象
1	姫路城管理事務所	姫路城
2	日光市多言語解説整備支援事業検討協議会	日光社寺
3	藤岡市文化財保護課	高山社跡（世界遺産 富岡製糸場と絹産業遺産群）
4	長崎市	グラバー園（明治・日本の産業革命遺産）
5	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議	世界遺産 百舌鳥・古市古墳群
6	ビジットGIFU協議会	鵜飼
7	指定管理者 ㈱大阪城パークマネジメント	大阪城
8	伏見観光プロジェクトチーム	伏見酒&和食
9	那須塩原市（塩原温泉ビジターセンター）	日光国立公園
10	小笠原村（小笠原エコツーリズム協議会）	小笠原国立公園
11	十日町市（十日町市食と農の景勝地推進委員会）	上信越高原国立公園
12	山ノ内町（志賀高原地域観光資源の多言語解説整備協議会）	上信越高原国立公園
13	東御市（湯の丸高峰レクリエーションの森環境整備運営協議会）	上信越高原国立公園
14	湯沢町（三俣地域多言語解説協議会(予定)）	上信越高原国立公園
15	妙高市（妙高市国立公園多言語推進協議会）	妙高戸隠連山国立公園
16	大山隠岐国立公園	大山隠岐国立公園
17	（一社）島原半島観光連盟	雲仙天草国立公園
18	一般社団法人伊賀上野観光協会	上野天神祭（だんじり祭り）・伊賀酒・忍者
19	あきた白神観光連絡調整協議会	白神山地
20	一般社団法人近江ツーリズムボード	彦根城
21	真言宗総本山東寺	東寺
22	一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社	秩父酒・秩父三十四所観音霊場
23	禅林寺	禅林寺（永観堂）

ライティングの実績（観光庁多言語解説整備支援事業）

2020年度：

13地域を担当（全65地域、事業に参画した制作会社 8社）

	地域協議会	整備対象
1	日光市多言語解説整備支援事業検討協議会	日光の社寺、博物館
2	姫路市	姫路城
3	古都奈良の文化財多言語解説整備推進協議会	東大寺
4	萩・外国の方に分かりやすい解説文整備推進協議会	明治日本の産業革命遺産
5	環境省関東地方環境事務所	日光国立公園
6	環境省信越自然環境事務所	上信越高原国立公園
7	大山隠岐国立公園	大山隠岐国立公園
8	あきた白神観光連絡調整協議会	白神山地
9	永平寺町多言語化推進協議会	永平寺
10	嵐山エリア周辺観光協議会（仮称）	京都
11	書寫山圓教寺観光振興協議会	書寫山圓教寺（西国三十三カ所）
12	呉市多言語解説協議会	呉市
13	有田インバウンド多言語解説整備協議会	有田焼

ライティングの実績（観光庁多言語解説整備支援事業）

2021年度：

10地域を担当（全32地域、事業に参加している制作会社 6社）

	地域協議会	整備対象
1	静岡市	久能山東照宮
2	宗教法人 住吉大社	住吉大社
3	元興寺多言語解説整備推進協議会	元興寺
4	出雲大社	出雲大社
5	古代出雲歴史博物館	古代出雲歴史博物館
6	環境省信越自然環境事務所	妙高戸隠連山国立公園
7	中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会	中部山岳国立公園
8	横手市	増田の町並み
9	多治見市多言語整備協議会（仮）	多治見市モザイクタイルミュージアム、 多治見市美濃焼ミュージアム 等
10	高山市	山・鉾・屋台行事(飛騨高山まちの博物館)

ライティングの実績（観光庁多言語解説整備支援事業）

2022年度：

4地域を担当（全21地域、事業に参加している制作会社 6社）

	地域協議会	整備対象
1	いしかわ工芸・文化財デジタルコンテンツ推進協議会	石川県立美術館、国立工芸館ほか
2	松本市	松本城・旧開智学校校舎
3	名古屋鉄道株式会社	如庵
4	日吉大社	日吉大社

その他、ライティング&リライトの実績

□ ジャパンガイド：英語版

1996年に英語版を開設。独自の取材にもとづき、ユーザーにとって有益な情報を伝えることをポリシーとし、日本の観光情報を発信。英語版は日本国内で最大級のウェブメディアとして、訪日外国人観光客に大きな支持を得ています。広告に関する媒体情報は[こちら](#)。

□ SAVOR JAPAN：農泊 食文化海外発信地域（農林水産省）

2019年「[SAVOR JAPAN](#)」にて、日本地域の食・景観・体験の紹介コンテンツを制作。英語・フランス語・繁体字の3言語のライティング&リライトを担当。繁体字は日本語・英語の初稿をもとにリライト。

□ JNTO公式ウェブサイト

2019年よりJNTOのグローバルサイト「Experiences in Japan」にて、日本各地の観光地・施設・体験の紹介コンテンツを制作。内容は文化、体験、自然など多岐にわたり、[台湾繁体字](#)、[香港繁体字](#)、[簡体字](#)、[韓国語](#)のライティング、エディティングを担当。2020年、さらに[タイ語](#)版が加わり計5言語で作成しました。

□ 市川市（千葉県）：令和2年度 文化財多言語解説整備事業

文化庁の補助金を活用し、国指定重要文化財の寺など解説文を英語、簡・繁体字、韓国語の4言語を作成。英語はライティングを行い、簡・繁体字・韓国語は英語原稿より翻訳を実施。

その他、ライティング&リライトの実績

□ 専修寺（三重県）：[令和2年度 文化財多言語解説整備事業](#)

文化庁の補助金を活用し、寺の歴史やその文化財に関する解説文を英語と簡体字の2言語で制作。
英語はライティングを行い、簡体字は英語原稿よりリライトを実施。

□ 飛騨市古川町（岐阜県）：[令和2年度 文化財多言語解説整備事業](#)

文化庁の補助金を活用し、町の祭りや地域の文化財に関する解説文を英語と簡体字の2言語で制作。
英語はリライトを行い、簡体字は英語原稿より翻訳を実施。

□ 白神山地・岳岱編&藤里駒ヶ岳編（秋田県）

2019年度、観光庁事業で担当させていただいたご縁で、2020年度、2021年度、2022年度に既存の日本語原文をもとに英語パンフレットのリライト、パンフレットのデザインに関するご提案（ネイティブ目線のフォントやレイアウトなど）
[ケーススタディはこちら](#)

□ 横浜市港湾局

2020年度、「市民や来街者のまちあるき促進」に向けた新たな取り組みとして、日本になじみのない方でも理解しやすい内容となるよう、ネイティブ目線で英語・日本語解説文を作成し、QR Translatorに掲載。
[ケーススタディはこちら](#)

その他、ライティング&リライトの実績

□ 十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ：

2021年度、科学館内の展示物に関する「音声ガイドの多言語ライティング&ナレーション制作」と「デジタル解説文の翻訳」を英語・繁体字・簡体字・フランス語・イタリア語・ポルトガル語・タイ語で作成。英語は取材をもとにライティング、他の言語は英語をもとに翻訳。

□ 日本充電インフラ株式会社

沖縄県・香川県・千葉県：[令和4年度 観光庁看板商品創出事業](#)：

2022年度、観光庁の補助金を活用し、沖縄県八重瀬町・西原町、香川県土庄町、千葉県香取市・匝瑳市の観光名所や文化財に関する解説文を英語・繁体字・簡体字・タイ語で作成し、QR Translatorに掲載。英語は取材や資料をもとにライティング、他の言語は英語/日本語をもとに翻訳。

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

Tel. 03-6214-5881

writing@export-japan.co.jp

大阪本社

〒 542-0081

大阪市中央区南船場 3-7-27

NLC心斎橋7F

TEL. 06-6210-2722

FAX. 050-3457-8760

東京支社

〒 103-0027

東京都中央区日本橋3-6-2

日本橋フロント1F

TEL. 03-6214-5881

FAX. 050-3457-8760

中国支社

現地社名：

長沙日通商務服務有限公司

〒410000 中国湖南省長沙市雀園路

568号創谷広告産業園B 3 棟0412

TEL. +86-731-8228-7650



www.export-japan.co.jp

japan-guide.com

www.japan-guide.com